

4 - CUBE

尼崎の人々の自由な発想に合わせて、自在に姿をかえる4つのキューブ
 屋台を出してカフェをしたり、観覧席として使ったり、商品棚にしたり、はたまた机にしてみたり
 解体すれば手軽に持ち運べて、いつでもどこでも「やってみたい！」が実現できます

住環境デザイン研究室 片岡 侑子
 小林 優里



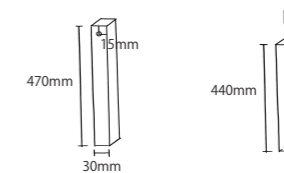
組み立て方

1. 材料 1セット (キューブ4つ)
 木板 (900mm×1800mm) 1枚
 角材 (30mm×30mm×1820mm) 20本
 布 (1500mm×1000mm)
 ゴムバンド 6本
 パッチン金具 16本
 木ダボ
 接着剤

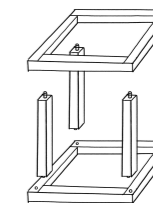
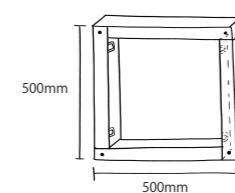
材料費合計 24000円

2. 部材の準備—木枠

- ①470mmの角材を32本、440mmの角棒を16本切り出す。
 ②470mmの角材の右端に直径8mmの穴を開ける。
 440mmの角材の両面に同じく穴を開け、木ダボをはめる。

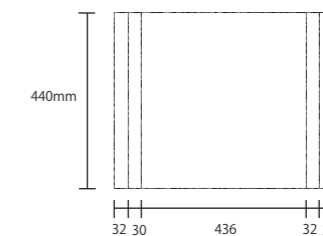


- ③図のように接着して木枠を作り、向かい合う2辺にパッチン金具を付ける。
 ④木枠と足材をはめ合わせ、キューブを作る。



3. 部材の準備—天板

- ①440mm×500mmの木板を4枚、440mmの角材を8本切り出す。
 ②図のようにビス留めまたは接着する。



4. 組み立て・応用

木枠をパッチン金具やゴムバンドで固定して自由に組み立て！
 使い方に合わせてキューブを足したり、タープを組み合わせたリ
 シンプルな作りだからこそ、活動に合わせて付属品も付け足せます